

認定 NPO 法人パピポ

所在地：〒272-0023 市川市南八幡 3-6-18 ミーナビル 4F

TEL 090-3475-2790 (事務局) FAX 047-300-8389

HP <http://papipo.org/>



NPO法人パピポの成り立ち

ひとりのお父さんの気づきと頑張りが パピポを生み出す

NPO 法人パピポは、株式会社アミュレットの一部門が行っていた社会貢献活動を独立させて設立された。なぜ IT 企業である株式会社アミュレットが社会貢献活動を行っていたのか。

約 10 年前、役員のお一人が、お子さんのバスケット活動の連絡やお当番決めなど、煩雑なメールや電話をなんとかしたいと思い立ち、現在の「パピポ」システムを開発したところ大評判。他のチームからも利用したいとの声がかかり広がった結果、現在では、5,000 チーム (50,000 人) を超えるチームが登録、250 万 PV/月を超える利用となっている。子どもたちの活動をスムーズに支援したい、という一人のお父さんの気づきと頑張りがパピポの始まりである。

「その当時、他にも連絡網のサービスはあったが、頻りに広告メールを受信しなくてはならず、学校の部活動では使いにくい状況でした。無料で利用でき、広告など一切なく、学校の先生が保護者に説明しやすいことで広がったのではないかと思います。日々の保護者の負担が減ったという声とともに、東日本震災の時には、チームメンバーの安否確認にも役立ったと聞き、開発を続けてよかったと思いました。」(河野代表 以下コメントも同様)

しかし、利用者が増えることでシステムの維持や開発を止めるわけにはいかず、ボランティアで開発費や人件費を賄うことに限界を感じたという。NPO 法人を立ち上げ、事業を切り離す決断となった。

パピポが目指すこと

スポーツを通じて社会貢献

NPO 法人パピポは「スポーツを通じて社会貢献をすること」を大きなテーマとし、パピポシステムの開発・運営に加え、ジュニアゴルファーの育成にも力を入れている。

「ゴルフは 70 歳、80 歳になってもできる一番の生涯スポーツだと思う。生涯スポーツなら子どもの時からやっても良いはずが、現状では一部の経済的に余裕のある人が行なうものになってしまっている。もっと手軽にできるスポーツになれば、裾野が広がり、プロになる夢をもてる子ども達もふえるはず、だと思っています」

パピポは子ども達に夢を持たせる支援をしたいと、パピポジュニアに会員登録したメンバーのサポートを行う。

- パピポジュニアの会員になると、
- ✓ 提携ゴルフ場の利用が安価でできる
 - ✓ プロコーチのレッスンが安価で受けられる
 - ✓ 月に一度の月例会に参加できる。

(大会は年代をこえた編成で行い、上級生は下級生の面倒を見ながらラウンドし、下級生は上級生の背中を見ながらゴルフのルールやマナーを学ぶというように、試合そのものが育成の場としての位置づけになっている)

など、技術力、人間力を鍛えるための支援を受けることができる。

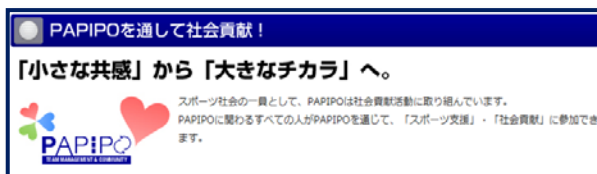


認定取得について

NPO 法人を立ち上げるにあたり行政書士から、NPO 法人として格式や信用度があり、寄附が集まりやすくなる、と認定取得の提案を受けた。

取得できるものならば、とチャレンジを決意。行政書士、税理士の全面バックアップを受け最速の 2016 年 6 月に認定を取得。「自分たちだけで取得を目指したら、何倍もの時間と労力が掛かったと思う。法人として認定取得が必須であるならば、外部の力を有効活用することも一つの手段であると思います。」

2016 年 10 月現在では「認定を取得したことのメリットを大きくは感じていない」という。



認定を目指す方へのメッセージ

「事業が増えれば事務処理も煩雑になることや、寄附は集まるものでなく、集めるもので、そこには法人としての苦労があることなどを考えた上で、認定を取る目的をはっきりさせてから臨む必要があると思う。」

現時点で大きなメリットは感じていないものの、「以前は法人として必要な書類が後回しになることもあった事考えると、法人として責任をもって活動することのきっかけになったことは間違いなく、引き続き認定維持に向けた活動は行なっていく。法人化、認定取得を通して、NPO 法人はボランティアだけでは成り立たず、寄附や助成金だけでも運営は難しい。自分たちで事業を行う資金をいかに稼ぎ出すかを考えなくてはいけないと痛感したことが一番の気づきだったかもしれない。」

パピポのこれから

会員からの安定的な寄附と、いくつかの大きな助成金ももらえるようになっている。しかし、助成金は必ず同程度の自己資金が必要であり、事務処理も煩雑になる。法人と

しての自由度を増すには、自分たちで収益を上げていく方法を考えなくてはならない。「NPO 法人は、利益をだしてはいけない、という間違えた考えが根強いと思います。私自身も初めはそう思っていたから。しかし、社会に貢献していくためには事業を継続することが不

可欠で、事業の自由度を増すためにも、自分たちで利益を出す収益事業を持つことも大事なことで、改めて感じています。資金不足になったら活動できない、では夢に向かって進んでいる子ども達に申し訳ないですから。NPO 法人パピポは、非収益事業の拡大に寄与できるよう、今後も積極的に収益事業を展開して行きます。」

4 年後の東京五輪に採用されたゴルフは、これからますます注目されるはず。パピポジュニアから代表ができること。それを励みに頑張る子ども達を応援していきたい、という河野代表の意気込みと力強いメッセージが印象的であった。



代表 河野栄治